

具体的な避難計画：作成の目的と4つの重要要素

○噴火に伴う現象は多様



噴石・降灰

火碎流

融雪型火山泥流

土石流

溶岩流

数十秒～数分で落下

温度数100°Cに達する
時速100km超の場合あり

破壊力：大
時速60km超の場合あり

噴火発生から短時間で居住地等に影響が及び、かつ、生命に対する危険性も高い現象
→現象が発生する前から、事前の避難が必要となる

○噴火の兆候から本格的な噴火に至るまでの時間を見積ることは困難



○噴火時等に混乱なく迅速な避難を実施するためには、平常時に具体的な避難計画を作成しておく必要がある。

「具体的な
避難計画」

4つの
重要な
要素

いつ？
どこから
誰が？
どこへ？
どうやって？

- ①噴火警戒レベル
- ②避難対象者リスト
- ③避難先リスト
- ④避難手段リスト、避難経路図